



## 教会と戦争

川端純四郎 著

没後3年

4月18日発売



遺された論文・講演・エッセイ類から28編を精選。  
教会の戦争責任からオルガニストの責務まで、著者の  
多面的な活動の根底にあった信仰と思想の全体像を描  
き出す一書。  
浅見定雄氏の「川端純四郎さんのこと——編集後記に  
代えて」を収録。  
◆四六判・435頁・本体2500円

### 著者の既刊書より 3・11後を生きるキリスト教

◆四六判・97頁・本1100円

かわばた・じゅんしろう  
1934年生まれ。東北大学、  
同大学院で学ぶ(宗教学専攻)。  
ドイツのマルブルク大学に留  
学、ブルトマンに師事。東北学  
院大学文学部キリスト教学科の  
教員を務め1999年に定年退  
職。また日本基督教団常議員、  
同讚美歌委員、WCC中央委員  
を歴任、日本基督教団仙台北教  
会オルガニスト、九条の会全国  
講師団メンバーとしても活躍し  
た。ブルトマンの翻訳、バッハ  
研究など多数の著訳書がある。  
2013年5月逝去。

- 【目次より】
- 1 現代における矛盾と差別
  - 2 教会と戦争——仙台東三番丁教会の  
場合
  - 3 聖書とバッハとマルクス
  - 4 歴史を背負って生きるということ
  - 5 日本におけるキリスト教
  - 6 同志社と東華学校
  - 7 「合同のとなえなおし」と日本基督教  
団の歩み
  - 8 私の信仰告白と「信仰告白文」
  - 9 「信仰告白に関するステートメント」
- ◆四六判・97頁・本1100円
- 10 信仰告白と聖書学
  - 11 エキメニカル運動と私たちの使命
  - 12 祈り三題
  - 13 現代におけるキリスト教的な視点と  
は何か
  - 14 キリスト者と天皇制・大嘗祭
  - 15 なぜ日本共産党か——信仰と科学
  - 16 無実を叫び続け——故佐藤誠氏のこと
  - 17 靖国神社問題と日本人の宗教心
  - 18 キリスト者の政治参加
- 19 平和七夕
  - 20 平和七夕二十年
  - 21 核兵器廃絶市民行進の二十五年
  - 22 教会と信仰者と国家——創造の秩序  
をめぐって
  - 23 礼拝における奏楽の位置
  - 24 神はかくも世を愛し給えり
  - 25 オルガニストの心構え
  - 26 礼拝と賛美
  - 27 礼拝と賛美の八〇年
  - 28 礼拝と音楽

# パウロ小書簡の神学

## 叢書新約聖書神学 9

4月15日発売

カール・P・ドンフリード、I・ハワード・マーシャル著

山内一郎、辻学訳

◆四六判・270頁・本体4000円

本書は、第一、第二テサロニケ書（ドンフリード）、フィリピ書、フィレモン書（マーシャル）を扱う。それぞれの書簡が執筆された歴史的状况を再構成し、各書簡の構造を概観した上で、パウロが受取人たちに何を伝えようとしたのかを追究、さらには、そのメッセージが今日の我々にとっていかなる意味を持つかという「適用」の問題にも及ぶ。

### 【叢書新約聖書神学の内容】

1. マルコ福音書（テルフォード）
2. ルカ福音書（グリーン）
3. ヨハネ福音書（スミス）
4. 使徒言行録（イエルヴェル）
5. ローマ書（ハーカー）未刊
6. 第一コリント書（ファーンニッシュ）未刊
7. 第二コリント書（マーフイー・オコナー）
8. ガラテヤ書（ダン）
9. パウロ小書簡（本書）
10. コロサイ・エフェソ書（リシカン／ウエタバン）未刊
11. 牧会書簡（ヤング）
12. ヘブル書（リンダース）
13. 公同書簡（チェスター／マートン）
14. ヨハネ書簡（リュウ）
15. ヨハネ黙示録（ボウカム）

カール・P・ドンフリード (Karl P. Donfried)  
ハーバード神学校、ユニオン神学校等で神学を学んだ後、ハイデルベルク大学でボルクムに師事（神学博士）。1968年から2005年までスミス・カレッジで教鞭を執った。

ハワード・マーシャル (I. Howard Marshall)  
ケンブリッジで学んだ後、アバディーン大学で博士号取得。同大学名誉教授。牧会書簡注解（ICC）をはじめ多くの注解を著している。

### ● 待望の増補新版

## エレメンツ 増補改訂版

ジェレミー・ダフ著／浅野淳博訳 新約聖書ギリシャ語教本

過去1世紀以上にわたり「エレメンツ」と呼ばれ英語圏で親しまれてきた定番の入門書。本書は、2005年に完全改訂された第3版に基づいて2008年に日本語訳が刊行されたが、このほどさらなる使いやすさを追求した増補改訂版として登場。一般信徒、神学生、教職者にいたるまで幅広いニーズに応える、新約聖書ギリシャ語初級文法教本の決定版。

◆B5判・264頁・本体4000円

岡野昌雄著

## 信じるという感覚 (仮題)

福音書に記されたイエスの不条理な振舞いはなぜ？ 素朴な疑問に答えながら、聖書や教会や信仰の本質が分かるようになる。初心者に気軽に勧められるキリスト教への超入門書。

◆ B6判・予価1000円

ユルゲン・モルトマン著／福嶋 揚訳

## 希望の倫理

64年に『希望の神学』で衝撃的デビューを果たした著者が46年後に、これまでの神学的営為の総決算とも言わべき書を書き上げた。いま真の希望のありかを指し示す21世紀の倫理。

◆ 四六判・予価4500円

ヴァイクター・フアーニツシユ著／焼山満里子訳

## 第一コリント書の神学

パウロ研究の第一人者が、「パウロの神学」を安易に語ることを戒めつつ、伝道者・「使徒」として走り抜いた彼の、第一コリント書に込めた独自の目標・特徴を手堅く綿密に検討する。

◆ 四六判・予価3500円

重版出来

山口里子著

## イエスの譬え話 1

どう園の主人や放蕩息子の父は本当に慈しみ深い神の譬えなのか？ イエスはガラヤの農民たちに全く別のメッセージを送ったのではないのか？ フェミニスト視点による衝撃の解釈。

◆ A5判・本体2000円

● 3 月に出た本

## 使徒行伝 下巻

荒井献著

【現代新約注解全書】

邦人の手になる学界最高水準の行伝注解、上巻刊行から39年ぶりに完結する。巻末には、「補論 最後のパウロ」および「概説 使徒行伝」を収録する。

◆ A5判・本体9000円

## 自由意志論

ジョナサン・エドワーズ選集 1

柴田ひさ子訳／森本あんり監修

理性の独立を強調する啓蒙主義思潮を厳しく批判しながら、道徳的主体としての自由と尊厳を擁護する——その狭く困難な論証。

◆ A5判・本体7000円

## 人が神にならないために

荒井献著 説教集。

◆ 四六判・本体2000円

## 「千字架」にけられ給ひしまなるキリスト

青野太潮著 説教・奨励集 ◆ 四六判・本体2000円

## 福音と世界

◆ 税込635円

## 4月号―特集 聖書の翻訳

寄稿者・大野恵正、川島貞雄、加藤常昭、山浦玄嗣、前川裕、島先克臣、内田樹、木内みどり、佐藤優、辻学ほか

●かつて金融マンで現在は牧師を目指しているある友人から、世の中の貨幣の総量は負債の総量に等しい、と聞いたことがあります。その意味を正確に理解することはできませんでしたが、強烈な印象を受けました。要するに貨幣は空から降ってくるわけではなく、中央銀行が発行して市場に流通していくのですが、その過程は必ず誰かの負債と対になっている、ということのようです。最も代表的なのは国の借金である国債。それを中央銀行が民間銀行から購入すると、貨幣が銀行に流れ、銀行がそれを貸し出し、再び新しい負債が発生していくということらしい。現実の貨幣供給の技術的な問題はさておき、私の脳内には、貨幣経済が回っていくためにいわば原罪的に負わねばならない「根源負債」のイメージが定着してしまいました。

●マタイが記す「主の祈り」の一節が思い出されます。「わたしたちに負債のある者をゆるしましたように、わたしたちの負債をもゆるしてください」。ここには二種の負債が語られているのではないかと思えます。一方で私たちが社会関係を生きている限り必ず持たね

ばならない他者との貸し借り。それは金銭の場合もあるし、罪責と呼ぶべき場合もあるでしょう。しかし究極の所、自分がこのように命を与えられて生かされているのは、神に借りがあるということではないのか。その恩義は、どんなことをしても返せる負債ではありません。しかしその借りを意気に感じ、返せないなりに神に応えようとする道が、他者に対して持っている債権を喜ばしく放棄するということなのかもしれない、そんなふうを考えさせられています。自分にはなかなかできないことですが――。

●荒井献先生の使徒行伝注解全3巻の完結を記念して講演会を催すことになりました。

- ・日時 6月11日(土)午後1時30分
- ・会場 教文館9階ウエントライトホール
- ・主題 「受けるよりは与える方が幸いである」(行伝20:35) 再考

・会費 500円。要申し込み

・主催 教文館(キリスト教文化協会)

および小社の後援

お申し込みは教文館キリスト教書部へ。

(Fax: 03-3563-1288)

email: xbooks@kyobunkwan.co.jp)

# 福音と世界

2016年

5

A5判・80頁・定価635円・送料70円  
年間予約購読料(送料共) 8460円

## 特集・聖書とお金

- 旧約聖書とお金……………長谷川修一
- 恵みとしての献金……………佐竹 明
- 「タラントの譬え」でイエスは何を  
問いかけたのか……………山口里子
- 地球温暖化時代21世紀の経済活動  
……………東方敬信
- 神と富の間……………梅津順一
- 資本主義に生きる教会……………南野浩則

なぜ、韓国女性神学者協議会は

「女性神学フォーラム」を再開しようとするのか

……………李恩選／解説・堀江有里

## 【連載】

- ◆新約釈義 第一テーマ書3……………辻 学
- ◆聖書素読5……………金 必順
- ◆消しゴム点描5……………望月麻生
- ◆リレーエッセイ・聖書とわたし5……………吉原 毅
- ◆カナダ教会通信9……………木原葉子
- ◆レヴィナスの時間論14……………内田 樹
- ◆現代日本の福音……………高橋優子
- ◆南島キリスト教史入門19……………一色 哲
- ◆こころの履歴書26……………佐藤 優